

国指定史跡

こうずけのくに さ い ぐん しょう そう あと

上野国佐位郡正倉跡

指定年月日:平成26年10月6日 所在地:伊勢崎市上植木本町

お問い合わせ

伊勢崎市教育委員会 文化財保護課
 〒372-0036 伊勢崎市茂呂南町5097-2
 電話 0270-75-6672 Fax 0270-75-6673
 E-mail:bunkazai@city.isesaki.lg.jp

上野国佐位郡正倉跡は今から1300年ほど前に造られた役所跡の一部です。当時の日本は飛鳥・奈良時代であり、天皇を中心とした国作りを推し進めていた時代です。政府は奈良の都を中心に全国を60近い国にわけ、さらに1つの国の中に複数の郡を置き、全国を治めていきました。そして、地方政治の中心として国には国衙、郡には郡衙と呼ばれる役所を設置しました。群馬県は上野国、伊勢崎市の大半は佐位郡と呼ばれており、この佐位郡の役所跡の一部が上野国佐位郡正倉跡なのです。



古代の日本



古代の国郡制と役所

当時の日本は奈良の都にいる天皇を中心とした律令国家です。60余に分けられた国には国衙という役所が置かれ、国司という役人が中央から赴任して政治を行いました。さらに国内の各郡にも郡衙という役所、そしてその地域の有力者が郡司という役人となり郡内の監督をおこないました。国衙が県庁、国司が県知事、郡衙が市役所、郡司が市長と考えると分かりやすいでしょう。



なるほど！
 佐位郡では正倉が
 みつかつてあるんじゃないかな。

イメージキャラクター
 「ハッソー君」



遺跡の位置



発見された八角形倉庫



郡役所のしくみ

郡役所にはいろいろな施設があります。今の市役所にも多くの課や施設があるように、古代の役所にもさまざまな仕事をする施設がありました。

上野国佐位郡正倉跡はこれまで三軒屋遺跡として知られていた遺跡の一部です。殖蓮小学校を中心とする地域で八角形倉庫をはじめとする数多くの建物がみつき、佐位郡の正倉跡であることがわかりました。周辺には上植木廃寺なども存在し、この地域が古代伊勢崎の中心だったのです。



上野国佐位郡正倉跡



① 正倉院を区画する大溝



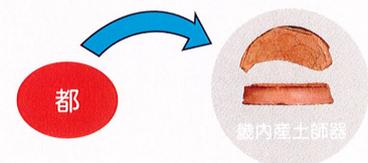
② 斜めに掘られた柱穴（幢）



③ 掘立柱式の倉庫跡



④ 4棟並んでみつけた倉庫跡（礎石建物）



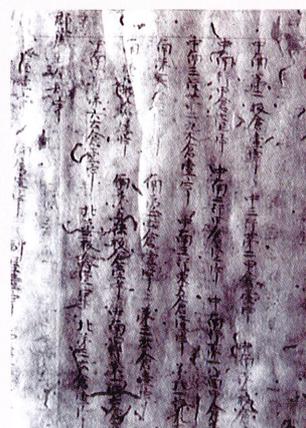
都周辺で造られた土器が佐位郡正倉跡でも出土してるんじゃ。

上野国佐位郡正倉跡は大溝で囲まれた中に数多くの倉庫跡がみついています。正倉跡は約6万㎡と非常に広く、全国でもトップクラスの規模を誇ります。倉庫跡は掘立柱建物、礎石建物という工法で作られており、60棟近く、確認されています。

倉庫以外にも鉄製品を作った工房や幢を斜めに立てた柱穴などもみついています。



⑤ 八角形倉庫



「上野国交替実録帳」(国宝)



法隆寺夢殿

群馬県には「上野国交替実録帳」という当時の様子が書かれた文書が残っています。そこには佐位郡正倉に「八面甲倉」（八角形倉庫）があったと書かれています。

八角形倉庫は全国ではじめて発見されました。八角形の建物は法隆寺夢殿や栄山寺八角堂など仏教建築に若干みられますが、当時の天皇陵が八角墳であったことから、古代においてはとても神聖な形だったようです。なぜこのような建物が作られたかはわかっていません。



八角形の古墳は群馬にもあるんじゃ。吉岡町の三津屋古墳。古墳以外では桐生市の武井廃寺。これも古代のお墓なんじゃ。